



2022年7月11日

各位

会社名 ANAホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 芝田 浩二
(コード番号 9202 東証プライム)
問合せ先 グループ総務部長 植野 素明
(TEL . 03-6735-1001)

固定資産（航空機）の取得の変更に関するお知らせ

当社は2022年7月11日開催の取締役会において、2014年3月27日に発表した「固定資産（航空機）の取得に関するお知らせ」について、以下の通り変更することとしましたので、お知らせいたします。

1. 変更の理由

貨物事業における将来成長に向けた大型貨物機の確保を目的に、ボーイング 777-9 型機 20 機を、ボーイング 777-9 型機 18 機およびボーイング 777-8 F 型機 2 機に変更いたします。

2. 変更の内容

| | 資産の内容 | 受領時期 |
|--------|----------------------|-----------------|
| 前回発表内容 | ボーイング 777-9 型機 20 機 | 2021 年度～2027 年度 |
| 今回変更内容 | ボーイング 777-9 型機 18 機 | 2023 年度～2029 年度 |
| | ボーイング 777-8 F 型機 2 機 | 2028 年度以降 |

※ ボーイング 777-8F 型機のカタログ価格は 493 億円/機。(為替レート：1 米ドル = 120 円にて算出。エンジン含。)

※ 機種変更によって、投資額合計は当初の計画を下回る予定です。

3. 取得の日程

| | |
|------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議 | 2022 年 7 月 11 日 |
| (2) 契約締結日 | 2022 年 7 月 11 日 |
| (3) 物件引渡日 | 上記「2. 変更の内容」の通り |

4. 今後の見通し

本件航空機購入に関する変更は、中長期的な事業計画の安定的遂行を可能とするために実施するものであり、2022 年 4 月 28 日発表の 2023 年 3 月期決算に係る業績予想の変更はございません。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (2022 年 4 月 28 日公表分) 及び前期連結実績

(単位：億円)

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|---------------------------|--------|--------|--------|-----------------|
| 当期連結業績予想 (2023 年 3 月期) | 16,600 | 500 | 300 | 210 |
| 前期連結実績 (2022 年 3 月期) | 10,203 | ▲1,731 | ▲1,849 | ▲1,436 |

最新鋭機材の導入に関する契約変更・締結について

～既発注済みボーイング 777-9 型機の一部をボーイング 777-8F 型機貨物専用機へ変更～
～ボーイング 737-8 型機の最終購入契約を締結～

ANA ホールディングス株式会社(代表取締役社長: 芝田浩二、以下「ANAHD」)は、貨物事業における将来成長に向けた大型貨物機の確保と国内旅客事業における小型機の低燃費機材への更新を目的に、成長の基盤となる競争力のある最新鋭機材を導入することを決定しました。

| | 既存発表内容 | 今回発表内容 |
|-----------------------|--|--|
| 対象機材: 機材数 (下線が変更点) | ボーイング 777-9 型機: 20 機 | ボーイング 777-9 型機: <u>18 機</u> ボーイング 777-8F 型機: <u>2 機</u> |
| | ボーイング 737-8 型機: 30 機 (確定 20 機、オプション 10 機) 2019 年 1 月 29 日 発注発表 | ボーイング 737-8 型機: 30 機 (確定 20 機、オプション 10 機) 最終購入契約を締結 |

1. ボーイング 777-8F 型貨物専用機への機種変更について

本日 2022 年 7 月 11 日に開催した臨時取締役会において、2014 年 3 月 27 日に導入を発表していたボーイング 777-9 型機 20 機の内 2 機をボーイング 777-8F 型機貨物専用機へ変更することを決定いたしました。本機材の導入は 2028 年度以降を予定しております。

ボーイング 777-8F 型機は、双発機において最大の貨物搭載可能量を誇ると同時に、在来機と比較してトン当たりの燃料使用量・二酸化炭素排出量・運航コストを抑制することができる最先端の大型貨物機です。

2. ボーイング 737-8 型機(ボーイング 737MAX シリーズ) 最終購入契約締結について

また、2019 年 1 月 29 日に発注を発表していたボーイング 737-8 型機の導入に向けて最終購入契約を締結いたしました(確定 20 機、オプション 10 機)。本機材の導入は 2025 年度からを予定しています。

ボーイング 737-8 型機は、他運航社において過去 2 度の事故が発生したことで世界で約 1 年 9 カ月の間運航停止措置がとられていましたが、事故要因と判断されたシステムの改修や乗員の訓練見直しなどが要件化され、2020 年 11 月に米国連邦航空局(FAA)が運航再開を承認しています。現時点において世界 46 社の航空会社が当機種の運航を再開しており、大きな不具合なく順調に運航実績を積み重ねています。

当機種は、ボーイング 737 シリーズの最新機種である MAX シリーズの 1 型式であり、燃費効率の良くなった次世代エンジン搭載に加えて、最新鋭の翼端(アドバンスドテクノロジーウイングレット)により、在来ボーイング 737NG 型と比較して約 15% 消費燃料の軽減が見込まれるなどの優れた経済性を有しています。機内空間においては在来型と比較してさらに開放感が高まり快適性が向上しているうえ、静粛性も高いことから、現在国内線で運航中のボーイング 737-800 型機の後継機として導入予定です。

ANA グループは経営の基盤である安全を堅持し、お客様の視点に立った品質・サービスの向上に努めながら、成長戦略を着実に実行してまいります。

【ボーイング 777-8F 型機、ボーイング 737-8 型機の詳細データ】

| | ボーイング 777-8F 型機 | ボーイング 737-8 型機 |
|------|-----------------|----------------|
| 全長 | 70.9m | 39.5m |
| 全高 | 19.5m | 12.3m |
| 全幅 | 71.8m | 35.9m |
| 航続距離 | 8,167km | 6,570km |

※メーカーカタログ値

以上

お問い合わせ先: ANA ホールディングス(株) 広報・コーポレートブランド推進部 03-6735-1111